

令和6年度入学試験問題(前期)

国語

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 本冊子には、一から三までの3問題が印刷されていて、合計20ページある。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙を別に配付している。解答は、解答用紙の指定された箇所に記入すること。所定の箇所以外に記入したものは無効である。
4. 解答の字数を指定している場合、句読点や符号やかっこ等もそれぞれ一文字分にかえる。
5. 解答用紙の指定された欄に、学部名および受験番号を記入すること。
6. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
7. 配付された問題冊子は、持ち帰ること。

— 次の文章は、七人の哲学者を取り上げ新しい友情観を探ることをテーマとした本のプロローグの一部である。以下の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

(戸谷洋志^{とやひろし}『友情を哲学する 七人の哲学者たちの友情観』より)

(注) ○QOLークオリティ・オブ・ライフの略語。生きがい、満足度。

問一 傍線あゝおの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

あ 覇権 い 触発 う 半(ば) え 陥(る) お 紙幅

問二 傍線カゝコのカタカナを漢字に直しなさい。

カ ルイケイ キ コウソク ク シイタ(げられ) ケ ヘイソク コ シバ(られ)

問三 空欄

a

↳

d

に入る最も適当な語句を次より選び、それぞれ記号で答えなさい（それぞれの記号は一度しか使わない）。

ア なぜなら

イ そして

ウ したがって

エ たしかに

オ しかし

問四 傍線1「それは『空気』なのだ」とは、どのようなことか。最も適当な選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

ア 友達同士がお互いに相手に向ける感情だけを根拠にして友情という関係性が成立していること。

イ 何をすれば友達から承認されたり否認されたりするのかの細則がどこにも書かれていないこと。

ウ 友達を失ったり友達から排除されたりすることが現代の若者にとって深刻な脅威であること。

エ 逸脱的な行為をしたり目立った行動をしたりする者が友達の輪から排除されてしまうこと。

オ 友達としての自然な振る舞い方や衝突の仕方についてのルールが曖昧かつ抽象的であること。

問五 傍線2「友情を面倒なものにしたり、息苦しいものにしたたりしているのかも知れない」とあるが、友情がそのようなものになるのはなぜか。最も適当な選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

ア 『ONE PIECE』におけるルフィとコビーのような関係はフィクションにもかかわらず、それを現実の世界においても実現させようと試みるから。

イ 友情というつながりが互いに相手に寄せる感情だけを根拠にしているため、つかみどころがなく不安定であり、その存在を明確に確認する方法も存在しないから。

ウ 自分の夢をかなえるためには、自分の意志で立ち上がり強者に立ち向かわなければならぬけれども、そのような強い意志を持ち続けることは現実には難しいから。

エ 自分と相手の双方が己の意志で行動する対等な人間関係を構築したいけれども、実際は互いに相手からどう思われているかを気にして行動してしまうから。

オ 気弱な性格のために苦しい状況から抜け出せずにいるけれども、本当にやりたいことを実現させるためには死んでも構わないという自らの覚悟が必要であるから。

問六 筆者は二重傍線XYZの三人の社会学者(古市憲寿・石田光規・土井隆義)の友情観に基づいた上で、それらをどのように説明しているか。最も適当な選択肢を二つ選び、記号で答えなさい。

ア 筆者は『ONE PIECE』を「現代版聖書」と捉える古市の理解に基づき、ルフィとコビーの関係性からうかがえるような友情観、すなわち自律的に生きる者同士が築く対等な人間関係を現代の若者が理想にしていると述べる。そして、互いの経験を共有することでルフィとコビーの友情が支えられているように、現実の友情関係においても経験の共有によって自律的かつ対等な友情関係が可能になると論じている。

イ 筆者は『ONE PIECE』を「現代版聖書」と捉える古市の言葉に理解を示し、ルフィとコビーの関係性と同じく、自らの意志で行為し、互いを対等な存在として認め合う関係性を若者が理想にしていると述べるが、現実の友情には彼らのようなわかりやすいつながりは全く存在しないと考えている。だからこそ筆者は、私たちは常に相手からどのように思われているかを気にして、不安にさいなまれたりするのだと述べる。

ウ 筆者は、古市が「現代版聖書」と述べた点に共鳴する一方、石田の文章を引用して友情に対する見方を相対化している。石田の論において、友情という関係性の成立に不可欠な唯一のものとして、友達同士による相互的な承認が挙げられている点に触れ、友情を支えているものが感情という不可視なものだからこそ相手からの評価が気になり、不安感を抱くものだとして述べている。

エ 筆者は、古市が「現代版聖書」と述べた点に賛同しながらも、石田の言葉を引用しながら現実における友情を捉え直そうとする。友達同士が互いに寄せ合う感情のみが友情関係を可能にすると石田が述べたことに触れた上で、石田が指摘するように感情という目に見えないものゆえに、かえって友情が「絆」として確かなものに感じられるのだと筆者は述べている。

オ 筆者は、石田の論を発展させたものとして土井の論を紹介している。石田の論に基づき、筆者は若者同士が互いに「空気を読む」ことを要請されていると述べた上で、土井がそうした友情のあり方を「友だち地獄」と呼んでいると述べる。すべての言動は「空気」の支配下に置かれるが、若者自身がそれを望んでいる限り、正しい友情のあり方として評価されるべきだと考えている。

カ 筆者は、土井の意見を石田の論に基づいたものとして紹介している。土井が「友だち地獄」と呼ぶ友情関係を、気詰まりのするような関係性であるとまずは位置づける。その上で、互いに相手からの評価を気にするあまり、友達同士目立った行動をしないように立ち回るようになり、衝突することすら出来なくなってしまうような友情のあり方を他律的なものだと考えている。

問七 傍線3「友情の可能性を自ら矮小化し、過小評価することのように思える」とあるが、筆者がこのように述べているのは友情をどのように考えているからか。八十字以内で説明しなさい。

問八 空欄 * に入る言葉を本文から漢字三字で抜き出して答えなさい。

問九 傍線4「炎に薪まきをくべ続けるように、自ら関わりを作り出さなければならぬのだ」と比喩的に表現されているが、どういふことか。この比喩が意味する友情の性質を七十字以内で説明しなさい。

問十 空欄 I III に入る語句の組み合わせとして最も適当な選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | |
|---|---|----|----|----|-----|----|
| ア | I | 関係 | II | 包摂 | III | 排他 |
| イ | I | 協調 | II | 積極 | III | 消極 |
| ウ | I | 関係 | II | 特殊 | III | 普遍 |
| エ | I | 協調 | II | 必然 | III | 偶然 |
| オ | I | 関係 | II | 主観 | III | 客観 |

問十一 本文における『ONE PIECE』の友情と古代ギリシヤの友情の共通点と相違点を七十字以内で説明しなさい。なお、『ONE PIECE』の友情を「前者」、古代ギリシヤの友情を「後者」として記述しなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

〔西鶴諸国ばなし〕「行末の宝舟」より

(注) ○信濃の国 — 現在の長野県。 ○あばれ者 — 乱暴なことを常にする者。

○馬方 — 馬に人や荷物を運ばせることを生業とする人。 ○玉座 — 美しく飾った座席。

○竜の中都 — 竜宮。 ○やろか信濃の雪国 — 当時流行した「さんながらが節」の一節。

○十四日から灯籠も出して — 七月十五日の盂蘭盆うらぼんの前日に盆灯籠を掛け、精霊を祀って、の意。

○借錢乞ひといふ者 — 借金取り。 ○馳走 — もてなし。料理以外についてもいう。

○色よき娘 — 美しい娘。 ○大踊 — 大勢が一同となって踊る盆踊り。

○螺 — 巻貝の一種で、たにしより大きい食用貝。 ○いたづら — 好色。 ○隙 — 休暇。

○念比した — 親しくした。 ○目安書 — 公用文書の書記役。

問一 a けり、b き、c なり、d ず、e す について以下の問いに答えなさい。

(1) a ~ e の助動詞の意味を次のア ~ カの中から選び、それぞれ記号で答えなさい(同じ記号を二度以上使ってもよい)。

ア 完了 イ 使役 ウ 過去 エ 打消 オ 断定 カ 尊敬

(2) a ~ e の助動詞を文脈に合わせて文法的に適切な形に活用させなさい。

問二 本文の文法事項について以下の問いに答えなさい。

(1) 本文中から、イ音便化している形容詞を二つ抜き出して答えなさい。

(2) (1)の解答について、それぞれ音便を用いない形に直しなさい。

問三 傍線1「見なれぬ人」がこの世の者ではないことを端的に示す一文を本文中から抜き出し、初めと終わりの三字を答えなさい。

問四 二重傍線①「申す」、②「まゐつた」、③「まゐらせん」は、誰が誰を敬っているのか。次のア～カの中から選び、それぞれ記号で答えなさい(同じ記号を二度以上使ってもよい)。

ア 作者 イ 勘内の親方や同輩 ウ 勘内 エ 世間の人 オ 大王 カ めしつれし者ども

問五 傍線2「そのゆゆしさ、むかしに引き替へ、皆々見違へける」、傍線3「それはそれはまたあるまじき事なり」を具体的に内容が分かるように現代語訳しなさい。

問六 傍線4「七人」について以下の問いに答えなさい。

(1) 「七人」の明暗を分けたものは何か。本文から漢字二字で抜き出して答えなさい。

(2) (1)の解答の二字を用いて、本文の主題を十五字程度で答えなさい。

問七 本文は冒頭の一文が抜けている。次のア～オの中から、最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 竜王は、人の心におもふ事を合点するものぞかし。

イ 人はばけもの、世になきものはなし。

ウ 惣じて生類を深く手慣るる事なかれ。

エ 人間程、物のあぶなき事を、かまはぬものなし。

オ 惣じて色よき女の誘ひは、おそろしきものなり。

問八 本文について以下の問いに答えなさい。

(1) 本文の作者は、井原西鶴である。次のア～オの中から、西鶴の作品でないものをつ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本永代蔵 イ 曾根崎心中 ウ 好色五人女 エ 好色一代男 オ 世間胸算用

(2) 江戸時代の小説の一種で、元禄期を最盛期として、上方中心に行われた現実主義的で娯楽的な町人文学を何と呼ぶか。漢字四字で答えなさい。

三 次の文章は鍾会と荀勗(荀濟北)の二人をめぐる逸話である。次の文章を読んで、後の問いに答えなさい(設問の都合で返り点・送り仮名を省略したところがある)。

著作権の関係上、省略します。

(『世説新語』より)

- (注)
- 従舅 — 母方の叔父。
 - 鍾兄弟 — 鍾会とその兄である鍾毓。
 - 門堂 — 門のわきにある建物。
 - 太傅 — 鍾兄弟の父である鍾繇。
 - 平生 — 生前。
 - 感慟 — 胸うたれて深く悲しむ。

問一 二重傍線 a と d について、送り仮名も含めて、読み方をひらがなで書きなさい（現代仮名遣いでもよい）。

問二 空欄

A

・

B

 に入る言葉の組み合わせとして、最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア

A

 剣

B

 宅

イ

A

 書

B

 画

ウ

A

 荀

B

 鍾

エ

A

 母

B

 父

問三 傍線 1「荀勗知是鍾、而無由得也」について、言葉を補って現代語訳しなさい。

問四 傍線 2「報之」の「報」について、本文中の意味と同じ使い方で「報」の字を用いた二字熟語を書きなさい。

問五 傍線 3「未得移住」について、白文に返り点をつけた上で、書き下し文にしなさい。

問六 傍線 4「二鍾入門、便大感慟」とあるが、それはなぜか。その理由が具体的に分かるように説明しなさい。